

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス エクシヴ益田乙吉事業所		令和6年12月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	分からない 無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	0	利用者の特性を考慮してその日のメンバーに合わせて部屋を分けて療育している。	友だち関係で一緒に難しかったり、こだわりが強いお子さんは、スペースだけでは片付けられない課題がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	0	クールダウンなど個々で対応をする必要がある時は使用できる部屋がある。	個別に対応する部屋はあるが、静かな環境を作ることは難しい。
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	0	活動後には職員で振り返りを行うようにしている。内容を引継ぎノートに記載し、休日職員が出勤時に内容を確認できるようにしている。	その日の出勤職員で振り返りを行うため、休日職員は参加できていない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	0	業務改善につながるよう、職員が意見出せる環境づくりに努めている。	定期的に職員面談を行い、意見を聞ける場を作っていきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	3	第三者委員の評価は行っていないが、何かあればいつでも相談やご意見を伺えるようにしている。	第三者委員と面識がない職員がいるため、顔合わせが必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	0	スマートフォンやパソコンで研修を受講できるシステムを取り入れている。職員の自己研鑽に繋がっている。	
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	1	保護者には、通信を通じてプログラムを伝えられている。	5領域を意識したプログラム作成に努めている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	1	5領域に基づいたアセスメントを行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	1	ガイドラインをもとに、個別支援計画を作成し、利用者や保護者のニーズも踏まえて支援設定を行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	2	児発管を中心に常勤職員でプログラムの作成にあたっている。	今後、パート職員の意見も聞けると活動プログラムの幅が広がると思う。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	0	利用者の希望も取り入れながらプログラムを組んでいる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	0		

	チェック項目	はい	いいえ	分からない 無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	0	毎日ミーティングを行い役割分担を確認している。	送迎に出る職員は、役割分担が伝わりづらいため療育に入ってしまうことがある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	0	個別にはその日の支援で振り返りを行うが、全体では翌日にミーティングで話し合っている。その日に全体で共有する機会は少ないが、翌日に前日の振り返りを共有している。	重要な内容はその日のうちに、振り返りを行い、その内容を翌日の職員に必ず周知していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	2		「4つの基本活動」について職員に周知していく必要がある。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	0	子供が活動の内容を決定する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	1	会議には児発管が参加しているが、会議で離す内容は常勤職員全員で話し合い、確認してから会議に望んでいる。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	1	必要に応じて、子ども家庭支援課やSSWなどに相談や情報提供を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	1	学校側より、下校時間の連絡は頂いている。送迎時に学校との引継ぎもっており、お子様の状態の把握に繋がっている	引継ぎ内容を療育中に全職員に周知することが難しく、お子さんが帰ってから伝えることがある。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	2	就学前には保育所に訪問し、お子様の様子や保育所での様子を担任の先生より伺っている。必要に応じて連携をとれる体制にある。	そのような機会に立ち会っていない為分からない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	3	第2事業所への情報提供を行っている。学校を卒業するお子さんはいない。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	4	今年度はオンライン研修を職員全員に受講し、社内研修会も行っている。職員のスキルアップする機会を増やしている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	1	放課後児童クラブとの交流はないが、公園と一緒に遊ぶなど、子ども同士は分け隔てなく遊ぶことができている。	公園で地域の子と一緒に遊ぶ機会はあるが活動の活動の計画を立てるような交流はない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	4	定期的に行われる、放課後等デイサービス連絡会に参加して意見交換を行っている。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	0	お迎え時や連絡帳を通じて、保護者にその日の様子を伝えている。	
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	3	家族が参加できる研修会は行っていないが、保護者の困りごとは真摯に受け止め、できる限りのサポートを行っている。		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	1	契約時には、必ず説明している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	1	保護者面談を年2回行い、意向を確認している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6	2		保護者を招くことはコロナ禍を経て難しくなっている。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	1	苦情はない。録画できるカメラを設置していれば事実が明確で迅速に対応できる。	苦情には迅速に対応できる体制を整えておく。	

	チェック項目	はい	いいえ	分からない 無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	0	HPやInstagramで活動の様子を発信している。	HPやInstagramを閲覧してもらえよう、もう少しアピールしていく必要がある。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	2	公園で地域の方に挨拶をする機会はあるが、地域に開かれるかはわからない	勤労感謝の日にテナントの方にプレゼントを渡すことで、支援が必要なこどもたちがいることを知ってもらっている。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	2	避難訓練や感染症の対応訓練を行っている。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	2	BCPを策定し、必要な訓練は行っている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	1	薬の名前や量について、職員には周知している。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	1	アレルギーのお子さんがいないため、食物アレルギーの方へ対応したことがない。	アレルギーのお子さんが利用する場合、職員への周知、意識の徹底を行う必要がある。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	2	安全計画を作成し、テナントの防災訓練にも積極的に参加している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	3	避難場所や、緊急時の対応は契約時に説明している。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	0		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	1	オンライン研修を活用し、虐待防止研修を行った。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	3	身体拘束が必要なおさまはいないが、危険性がある場合については保護者に説明を行っている。		